第7回 FUJITA ブレインサイエンスセミナー

(精神･神経病態解明センター開催)

慢性ストレスによる脳機能変容とこころの病

" Chronic Stress-Induced Alterations in Brain Function and Mental Disorders"



東京科学大学大学院
医歯学総合研究科

古屋敷　智之 先生

日時：2026年 12月 1日 (火) 17：00 - 18：00

場所：大学2号館10階1001とZoomのハイブリット開催
※学外者はZoomのみ

言語: 日本語（Japanese）

参加登録 URL:
https://us02web.zoom.us/webinar/register/WN_nhMctOUVSJWVCKmKmVlwrg

慢性ストレスは心身の働きを乱し、うつ病をはじめとする「こころの病」の発症や増悪に深く関わる。しかし、慢性ストレスがどのように脳機能を変容させ、病態形成につながるのか、その仕組みには不明な点が多い。我々はマウスの社会ストレスモデルを用い、慢性ストレスがミクログリアを活性化し、前頭前皮質のドパミン応答低下や神経細胞の樹状突起退縮を介して行動変容を促すことを明らかにした。さらに、骨髄由来の好中球や単球が動員され、末梢炎症も行動変容に関与することを見出した。現在、シングルセル・マルチオーム解析や全脳イメージングを用いて、慢性ストレスによる炎症反応と、それに続くシナプス変化や神経回路再編の実態とメカニズムを解析している。本講演では、当研究室の最新の研究を紹介し、慢性ストレスがこころの病につながる仕組みと、その克服に向けた新たな治療標的の可能性を議論する。

お問い合わせ･連絡先

･講演内容について／佐野　裕美（精神･神経病態解明センター 内線: 9379）
･その他／鶴田　未奈子・池田　彩乃（研究支援部 研究支援課 内線: 2590）

2026 年 11 月 2 日
November 2 2026

学生・教職員各位
To all faculty, staff, and students

藤田医科大学　精神・神経病態解明センター
名誉センター長　貝淵弘三

令和 8 年度
第 7 回 FUJITA ブレインサイエンスセミナー　開催通知
Information on FUJITA Brain Science Seminar 2026

◆ 演者 ： 古屋敷　智之 先生（東京科学大学大学院医歯学総合研究科）
「慢性ストレスによる脳機能変容とこころの病」

FURUYASHIKI Tomoyuki

（Institute of Science Tokyo, Graduate School of Medical and Dental Sciences）

– Chronic Stress-Induced Alterations in Brain Function and Mental Disorders –

日時: 2026 年 12 月 1 日（火） 17:00 – 18:00
Time and Date: Tuesday, December 1, 2026, 17:00–18:00

場所:　大学 2 号館 10 階 1001 とオンライン（Zoom）のハイブリッド開催
※学外者はオンライン（Zoom）のみ
Room：University personnel can attend the seminar at 1001,10F, Building No.2 and online Zoom. Others can attend it online (Zoom).

受講対象者：学内外にかかわらず、どなたでもご参加いただけますが、生命科学について大学学部生程度以上の知識をお持ちであることが望ましいです。

参加方法：オンラインでご参加の方は、下記サイトより必ず事前登録してください。
このミーティングに事前登録する：
https://us02web.zoom.us/webinar/register/WN_nhMctOUVSJWVCKmKmVIwrg
登録後、ミーティング参加に関する情報の確認メールが届きます。

使用言語: 日本語
Language: Japanese

講演要旨：慢性ストレスは心身の働きを乱し、うつ病をはじめとする「こころの病」の発症や増悪に深く関わる。しかし、慢性ストレスがどのように脳機能を変容させ、病態形成につながるのか、その仕組みには不明な点が多い。我々はマウスの社会ストレスモデルを用い、慢性ストレスがミクログリアを活性化し、前頭前皮質のドパミン応答低下や神経細胞の樹状突起退縮を介して行動変容を促すことを明らかにした。さらに、骨髄由来の好中球や単球が動員され、末梢炎症も行動変容に関与することを見出した。現在、シングルセル・マルチオーム解析や全脳イメージングを用いて、慢性ストレスによる炎症反応と、それに続くシナプス変化や神経回路再編の実態とメカニズムを解析している。本講演では、当研究室の最新の研究を紹介し、慢性ストレスがこころの病につながる仕組みと、その克服に向けた新たな治療標的の可能性を議論する。

担当者連絡先：
・講演内容に関して：佐野　裕美（精神・神経病態解明センター　内線：　9379　メール：　hiromi.sano@fujita-hu.ac.jp）
・その他：鶴田　未奈子・池田　彩乃（研究支援部　研究支援課　内線：2590　メール：icbs@fujita-hu.ac.jp）